

野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館 指定管理者候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年2月15日（水）午後4時50分から午後5時20分まで
開催場所 市役所 5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、行政管理課長、
管財課長、生涯学習部長、社会教育課長
欠席委員 なし
事務局 社会教育課、行政管理課

1 開会

<委員長より開会の言葉>

2 議事

平成28年度（4月～12月）野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成29年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局より平成28年度（4月～12月）野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成29年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

○ 櫛のホール駐車場の利用状況及び考え方を教えて欲しい。

→ 櫛のホールの一般利用者駐車場は、櫛のホール南側駐車場57台、北側公用車用駐車場に小ホール用として6台あるが、このほかにも郷土博物館・市民会館駐車場31台、商店会共同駐車場9台、また土曜・日曜・祝日で小ホールの利用がある場合で近隣醤油会社が休みの場合には社員駐車場13台が利用可能となっている。南側駐車場の混雑は、平日については小ホールの催し物や会議等で施設利用者が多い場合などの一時的なものであり、土・日・祝日などについては小ホール等で催し物が開催される場合が多く、朝から満車になることも多いが、午前11時頃から徐々に緩和されつつ午後3時頃には解消する状況にある。満車時には商店会共同駐車場など他の駐車場への案内をしているが、他の駐車場への利用は少ない状況にある。このように共同駐車場の利用も少ない状況にあり、小ホールの催し物があるときでも台数の確保はできていることから、今後についても従来どおり南側駐車場以外の駐車場や公共交通機関の利用促進を図ることで対応したいと考えている。

- 具体的な方策の情報提供で、昨年、市政メールで指摘のあった1階エントランスホールのパフレットスタンドは、適正に管理されているか。
 - 配架されているチラシについては指定管理者が毎日確認しており、適正に管理されている。以前指摘のあったようなことはない。

- 情報活用コーナーの専門性を高める方策に「パソコンボランティア36人との連携」とあるが、具体的にどのような事業を実施しているのか。
 - パソコンデビュー講座から、ワード・エクセル・パワーポイント入門講座、また、これらの基本ソフトを用いてチラシ作り、年賀状作り、家計簿作り、カレンダー作り、紙芝居や旅行記制作の講座などを開催している。

- 個人情報保護の組織中、「館長を個人情報管理の責任者とし、定期的に管理状態に関する内部監査を実施しています。」とあるが、内部監査は、どのくらいの頻度で、どのような内容で実施しているのか。
 - アクティオ株式会社独自の内部監査を年1回実施している。各施設に対しコンプライアンス関係、組織運営（個人情報・経理）、利用者サービス（利用者の意見・苦情対応）、施設設備の維持管理（衛生・防犯・防災）の各項目について120問の質問をし、その回答後、本社経営企画室及び各地区の統括館長が現場に行き、施設の書類、状況等について監査を行っている。

- 空調施設切り替えの段取りの不備があったことについて、一部省略したかたちとなったとあるが、何を省略したのか。また、影響はないのか。
 - 通常空調切り替え期間内に行う冷温水発生機内チューブのブラシ洗浄及び冷却水系水室塗装の手配がつかず、これらを約1か月後に実施した。このことによる影響は特にないものと考えている。

- 委託文化事業において、収支を均衡させるための改善策を教えて欲しい。
 - 支出については公演委託料の交渉を行うことにより削減を図り、収入については広報宣伝を充実させ、集客の努力をする。更に広報宣伝の実施及び告知期間の拡大を行い、集客増につなげていく。また、文化会館事業と野田公民館事業とを事業の集約も含めジャンルごとに精査し、事業を計画していくことも必要かと考えている。

- 応援人件費はどのような場合に発生しているのか。また想定以上となったケースはどのようなものなのか。
 - 舞台技術者は、大ホール、小ホールそれぞれ3人ずつ配置されているが、例えばピンスポットライトやプロジェクターを使用する場合にはこの人員では対応

できない状況となる。また催事によっては舞台転換の要員や長時間催事による交代要員が必要になることもあり、このような場合応援技術者を配置することから応援人件費が発生している。また、想定以上となったケースとしては、通常行われている同種の催事での一般的な内容以上の演出を主催者が求めることがあり、このような場合の対応に技術者の増員が必要となることなどである。

○ チケット購入手段の多様化による効果及び懸念材料があれば教えて欲しい。手数料負担増に比べ利用者増の効果が大きいと判断しているのか。

→ チケット購入の手段の多様化による効果は、チケットを販売しているサービス会社の顧客にも告知ができる、コンビニ等でチケット購入ができ、チケット取り扱い窓口まで来る必要がないなどがあり、懸念材料としては、座席指定の場合、チケットの割り振り方法によっては、利用者が希望する座席を提供することができない場合がある、チケットサービス会社ごとに販売数がまちまちで、多く売れ残ることもある、チケットサービス会社により手数料が様々であるなどが考えられる。チケットサービス会社の利用については、手数料負担増に比べ利用者増の効果が大きいと考えている。

○ 人員配置の職種にディレクターの職があるが、何をするのか。また、必要な資格、経験はあるのか。

→ ディレクターについては、主に委託文化事業を中心に、事業の企画立案及び事業運営の中心を担う職である。ディレクターについては、特に必要な資格等はないが、公共施設の事業運営において1年以上の経験は必要とするものと考えている。

<審議の結果>

平成28年度(4月～12月)野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中心コミュニティ会館業務報告書及び平成29年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中心コミュニティ会館業務計画書について承認

3 閉会